

働くことは、心を高めるための1番の得策だ。しかし、そう思って仕事に取り組んでいる人は世の中にどのくらいいるのだろうか。今の職場に来ていなければ、私もそう思うことはなかっただろう。人は弱く、変化を嫌う生き物だ。だから苦勞を嫌い、易きに流れ、今が楽しければそれで良いと思ってしまう。しかし、それは自分の成長を自分で止め、変化しないどころか退化させてしまう、恐ろしく、とても勿体ないことだ。自分を変えるのは自分自身であり、人からこうしたほうが良いと言われても、腑に落ちなければ素直に行動できない人も多いと思う。それが良いか悪いかは別として、とりあえず実行に移してみると、それが良いことだと学べたり、これはちょっと違う、自分には合わないと思ったとしても、そう気付くことができればそれは学びになる。変化を恐れるよりも、変化を楽しめる人間になりたいと思う。

殆どの人は、時間は「過去↓現在↓未来」と流れていると言うが、実際は「未来↓現在↓過去」で流れているという。自分はどうなりたいか、どうなっていたいのかと想像し、そうなれるように行動すれば、自ずと求めた未来が来てくれる。そのためには一生懸命努力し、心の在り方を学び、心を鍛えていく必要がある。それが「働く」ということだ。働くことは人生を好転させてくれる万病に効く薬。働くことで心を鍛え、何事にも感謝のできる人間になり、試練を克服し、良い未来が来るよう努力していきたい。